CASBEE®-建築(新築)　評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-建築(新築)2016年版　使用評価ソフト：CASBEE-BD_NC_2016(v4.02)

1-1 建物概要

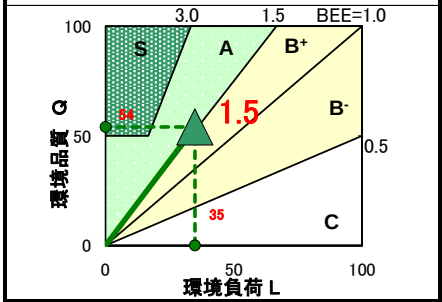
建物名称	(仮称)下野池第2住宅建替え事業	階数	地上12F
建設地	大阪府堺市北区長曽根町545番33、	構造	RC造
用途地域	第二種中高層住居専用地域、準防	平均居住人員	686 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年1月　予定	評価の実施日	2024年10月8日
敷地面積	10,604 ㎡	作成者	株式会社IAOプランニング＆デ
建築面積	2,991 ㎡	確認日	2024年10月9日
延床面積	21,632 ㎡	確認者	株式会社IAOプランニング＆デザイン近藤 康明

1-2 外観

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

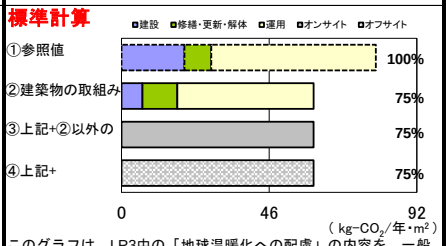
BEE =1.5

S: ★★★★★　A: ★★★★　B+: ★★★　B-: ★★　C: ★



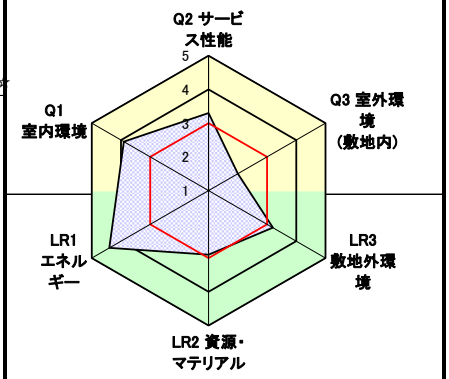
2-2 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

30%: ☆☆☆☆☆　60%: ☆☆☆☆　80%: ☆☆☆　100%: ☆☆　100%超: ☆



このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

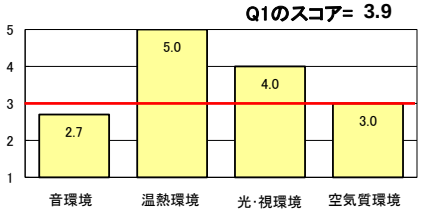
2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



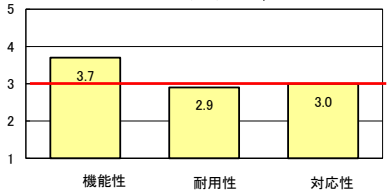
2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質　　Q のスコア= 3.1

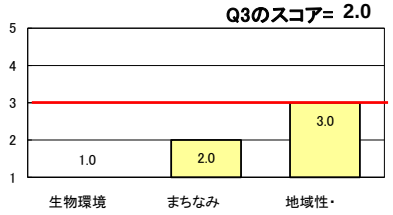
Q1 室内環境　Q1のスコア= 3.9



Q2 サービス性能　Q2のスコア= 3.3

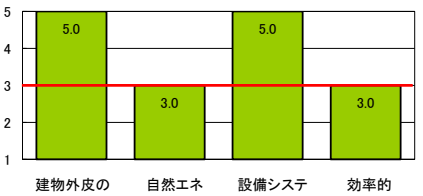


Q3 室外環境（敷地内）　Q3のスコア= 2.0

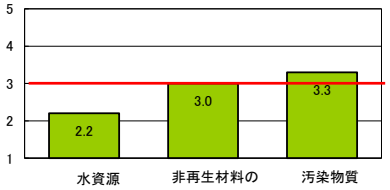


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 3.6

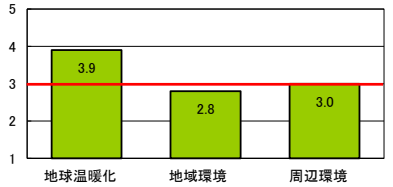
LR1 エネルギー　LR1のスコア= 4.4



LR2 資源・マテリアル　LR2のスコア= 2.9



LR3 敷地外環境　LR3のスコア=3.2



3 設計上の配慮事項

総合

建物利用者の快適な生活環境を維持するため建築物の耐用年数を高め、省エネルギー性等で環境にも配慮している。

その他

特に無し

Q1 室内環境

断熱等性能等級　等級5として室内温熱環境に配慮し、F☆☆☆☆の建材を使用してシックハウス対策に配慮している。

Q2 サービス性能

劣化対策等級　等級3、更新必要間隔の長い給排水配管等で建物の耐用年数に配慮している

Q3 室外環境（敷地内）

多種多様な樹木を選定し、四季を通じて自然を楽しむことができ、地域性・アメニティへの配慮を行っている。

LR1 エネルギー

断熱等性能等級　等級5、潜熱回収型給湯、LED照明などで省エネに配慮している。

LR2 資源・マテリアル

ノンフロン断熱材の採用やリサイクル材を使用し、資源の有効利用を心がけている。

LR3 敷地外環境

長寿命の躯体や高効率な設備により、ライフサイクルCO2の排出を抑制し、地球温暖化に配慮をしている。また、屋外広告物照明の設置は行わないなど、敷地外環境に配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency（建築環境総合性能評価システム）
■Q: Quality（建築物の環境品質）、L: Load（建築物の環境負荷）、LR: Load Reduction（建築物の環境負荷低減性）、BEE: Built Environment Efficiency（建築物の環境効率）
■「ライフサイクルCO_2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO_2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE堺　堺市重点項目シート

＜新築・既存＞　Sakai_s2018v1.0

1. 建物概要			BEE	BEEランク
	建物名称	(仮称)下野池第2住宅建替え事業　北敷地	1.5	A
	建設地	大阪府堺市北区長曽根町545番33、545番132		
	主用途／延床面積	集合住宅　／　21,632.05　㎡		

2. 重点項目への取組み

重点項目	評価点	取組み度
CO2削減	4	✿✿✿✿・
みどり・ヒートアイランド対策	2	✿✿・・・
エネルギー削減	5	✿✿✿✿✿
建物の断熱性	5	✿✿✿✿✿
安全快適な暮らし	3	✿✿✿・・
自然エネルギー利用	○	

再生可能エネルギー利用施設の導入状況								
	太陽光発電	－	風力	－	地熱	－		
	太陽熱利用	－	水力	－	バイオマス	－		

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア

	評価項目	スコア	評価点
CO2削減			
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3－1」のスコアによる評価値	3.9	4
みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3－1」のスコアによる評価値	1.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3－3．2」のスコアによる評価値	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3－2．2」のスコアによる評価値	3.0	
エネルギー削減			
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1－3」のスコアによる評価値	5.0	5
建物の断熱性			
建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1－1」のスコアによる評価値	5.0	5
安全快適な暮らし			
バリアフリー計画	CASBEE「Q2－1　1．1．3」のスコア による評価値	4.0	3
耐震・免震	CASBEE「Q2－2　2．1」のスコアによる評価値	3.0	
地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3－3　3．1」のスコアによる評価値	3.0	
交通負荷抑制	CASBEE「LR3－2　2．3．3」のスコアによる評価値	2.0	
自然エネルギー利用			
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1－2」のスコアによる評価値	3.0	○

4. その他

技術の名称	考慮事項
特になし。	

特に配慮した事項

特になし。